

「科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成事業」選定状況

(1) 選定状況

申請件数	8件
選定件数	4件

(2) 選定大学一覧

設置形態	選定大学名
国立	北海道大学
国立	埼玉大学（運営拠点大学）
国立	名古屋工業大学
私立	金沢工業大学

(3) 選定事業一覧

大学名	北海道大学
取組概要	産学連携教育と数理・データサイエンス教育の充実を核とする新たな工学教育の体系構築を目指して、工学部・工学院に学士一修士課程6年一貫および修士一博士課程5年一貫教育プログラム設置のための調査・検討を実施する。特に、一貫プログラム導入のために必要となる内規等の改正について十分な調査・検討を行う。工学院で実施しているメジャー・マイナー教育システムである双峰型教育を発展させて、より広範な副専修の履修を可能とし、海外インターンシップを含めたグローバル人材育成を目指す。産学連携特任教員を配置して、産学連携の教育研究を協力を推進する。教養教育連携で実績を有する北見工業大学との連携によって、工農連携や数理・データサイエンス科目のコアカリキュラム開発において、遠隔教育の新たなモデル事業を展開する。新たな教育業績評価システムを構築・運用するとともに、PDCAの持続的実施の体制を整備する。

大学名	埼玉大学
取組概要	今年度当初の工学部改組に伴って導入した文理融合型イノベーション人材育成プログラムを含む工学部教育プログラムを改良・拡張して、工学×経済経営型メジャー・マイナー学部・修士連結教育モデルプログラムを策定する。また、工学系人材を対象とした情報科学技術教育および数理・データサイエンス教育のためのモデルプログラムを策定する。優秀なプログラム修了生に先端産業国際ラボで研究開発・製品化・事業化を実体験させる。プログラム策定に際し、経済学部等の学内組織、地域の産官と連携し、また、産学両者のニーズを把握し、マッチングすることを生業とする民間企業との連携を強化する。ステークホルダーへの満足度調査、学生の達成度評価を定期的実施し、プログラムの改善を図る体制を整備する。実務家教員を含む教員の教育活動を適切に可視化し、評価するために学内クロス・アポイントメント制度を設計する。

大学名	名古屋工業大学
取組概要	<p>本事業では名古屋工業大学が名工大版理工系人材育成戦略の下、第3期の最重要計画として進行中の学部・大学院連結型カリキュラムによる価値創造型人材の育成について、既に構築した工学部創造工学教育課程を発展させ、大学院段階の設置を目指し、大学院カリキュラムを構築する。本学は学長の諮問機関として産学官教育連携会議を平成26年に設置したが、事業はここで評価を受ける。また、教育の推進のため、企業や本学OB等と教育連携体制を構築し、学部のPBL演習や大学院の課題研究で教育手法や教材の研究を進める。また大学院に研究インターンシップを必修科目としておき、その事前教育、達成度評価等の教材開発、指導法ガイド、事後報告プログラム等を開発すると同時に、国内外の派遣拠点を構築する。また、大学院を含む工学コアカリキュラムの開発を進め、企業型教員・コーディネータ等、教育専任教員の採用、教員の教育業績評価の改革の計画を進める。</p>

大学名	金沢工業大学
取組概要	<p>本学は1995年以来6次にわたる教育改革を行い、2016年度からは従来の改革を発展させた方針として「世代・分野・文化を超えた共創教育」の実現を掲げ、産業界やグローバルな社会との結びつきを強く意識した、学科横断型の教育システムの構築に取り組んでいます。本事業では、この改革を基礎として、サイバー空間とフィジカル空間を融合したシステムによって、経済の発展と社会的課題を解決するSociety5.0をリードする人材、即ち「高度な情報技術と複数の専門分野の知識と実践的スキルによって社会で適切な価値を創出できる人材」の育成を目指します。具体的には、①全学的な情報技術教育の導入、②6年制メジャー・マイナー制度の導入、③社会実装を実現する深い産学官連携からなる教育改革を達成することで、ここで設定した人材の育成を早急に実現します。</p>